

ロンドン、2018年7月10日

ドイツのBGHフライタル社向け電気炉近代化プロジェクトを完工

- 炉の作動を最適化
- 出鋼システムを更新
- レードル加熱システムと合金投入用設備を新規納入

プライメタルズテクノロジーズ（Primetals Technologies）はドイツの鉄鋼メーカーのBGH エデルシュタールヴェルケ社（BGH Edelstahlwerke GmbH）がドイツ・フライタルに保有する電気炉の近代化工事を完工し、最終検収書を受領しました。この近代化プロジェクトでは炉の作動を最適化し、出鋼システムを更新すると共に、レードルカー、レードル加熱システム、合金投入用設備が更新され、据付られました。この近代化工事は2段階に分けて実施され、2017年の夏期停止期間中に完了していました。

BGH エデルシュタールヴェルケ社はオーナー経営の中規模グループ企業で、ドイツとポーランドに複数の独立した生産会社を保有しています。BGH エデルシュタールフライタル社（BGH Edelstahl Freital GmbH）は、BGHグループ内で最大の企業で、ドイツ東部ドレスデン近郊のフライタルで電気炉、二次精錬設備、インゴット casting 設備、水平式連続 casting 設備からなるミニミル製鉄工場を操業しています。後工程では、粗ブロックミルと線材圧延機で圧延処理が行われます。当社は、2013年に線材圧延機の自動化と駆動システムの近代化工事を実施していました。

本プロジェクトの一環として、当社は炉の揺動装置のほか、炉蓋昇降システムと傾動システムの近代化を実施して炉の作動を高速化するとともに、これまでより長い電極棒を使用可能にしました。プロジェクトの第2段階では炉から溶鋼を出鋼するシステムが更新され、レードルカー、レードル加熱システム、レードルへの合金投入用設備も新規に納入されました。当社はエンジニアリング、設備の供給、据付と試運転の指導を担当しました。



プライメタルズテクノロジーズがドイツのフライタールにある BGH エデルシュター
ルヴェルケ社の電気炉近代化工事を完工。

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、
以下の URL よりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業における、エンジニアリング及びプラント建設全般の世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューション

Primetals Technologies, Limited
A joint venture of Siemens, Mitsubishi Heavy Industries and Partners
Communications
Head: Gerlinde Djumlija

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom

Reference number: PR2018071574jp

をお届けします。当社は、株式会社日立製作所ならびに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジー社の統合により発足した三菱重工のグループ会社です。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。従業員数は全世界で約 7,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : www.primetals.com